



原発事故から13年、基金発足から11年 延べ1万1千人・個人6千人の子どもたちの甲状腺検診



報告：関東子ども健康調査支援基金 共同代表 兼 事務局 木本さゆり

関東子ども健康調査支援基金とは？

ホームページ <https://www.kantokodomo.info/>

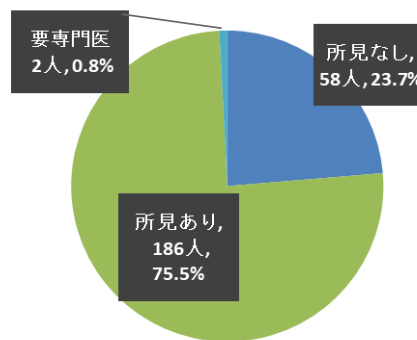
2011年3月の福島原発事故後、常総生協から地域へ呼びかけ、大勢の湧き上がる思いから、茨城県・千葉県
の市民が呼びかけ人となって、2013年9月1日に設立しました。事務局は常総生協が担っています。1986年の
チェルノブイリ原発事故後に、それまで10万人に2～3人と言われた「小児甲状腺がん」が事故後5年程で多発
したことから、原発事故による病気として国際的に唯一認められたのがこの病気です。福島県では2011年の10
月から、東京電力と国が合わせて1,000億円を拠出し、「福島県県民健康調査」の枠組みの中で甲状腺検査（事
故当時18歳以下だった人が対象）をスタートしましたが、福島県外の汚染地域は公的支援の対象にはなりませ
んでした。そのような背景があって「もう待ってはられない」と、この基金は立ち上がりしました。多くの組
合員や生産者、全国の会員のご寄付に支えられ、検診ボランティア（検診スタッフ・医師・技師など）の協力
によって甲状腺エコー検査を継続しています。検診エリアは関東の「汚染状況重点調査地域」に指定された市
町村を中心とした栃木県・茨城県・千葉県・埼玉県・神奈川県・東京都の1都5県です。生協の供給エリアを超
え、それぞれの地域の皆さんと協力して毎年各地を巡回検診しています。第11期（2023年10月～2024年9月）
は14か所で検診を行い275人が受診しました。発足からの11年間の受診者数は個人では6,024人、延べ11,336人
に上ります。去る1月26日（日）に発足から11回目の「年次活動報告会」を開きました。

第11期検診会場と受診人数

年月日	都・県	会場	検診者数
2024/9/8(日)	栃木県	宇都宮会場	20
2024/8/25(日)	茨城県	東海村会場	7
2024/7/7(日)	茨城県	取手会場	19
2024/6/30(日)	埼玉県	三郷会場	24
2024/6/9(日)	茨城県	日立会場	12
2024/5/18(土)	千葉県	我孫子会場	26
2024/5/6(月)	茨城県	守谷会場	26
2024/2/11(日)	神奈川県	新横浜会場	18
2024/2/10(土)	神奈川県	新横浜会場	12
2023/12/10(日)	千葉県	流山会場	23
2023/11/25(土)	千葉県	柏会場	16
2023/11/18(土)	千葉県	白井会場	30
2023/10/22(日)	栃木県	矢板会場	25
2023/10/21(土)	栃木県	那須塩原会場	17
【11年次計】	2023-24年	14会場	275人

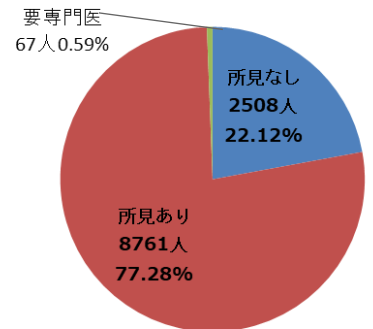
11年次検診結果(基金判定)

(事故時18歳以下245人/2023.10-2024.9)



11年のべ検診結果(基金判定)

事故時18歳以下11,336人/2013.10-2024.9



2025年2月・3月の予定

○生協基幹運営/地域活動・催し●

○「常総っ子応援団」Jin流星台プレイパーク：毎週木曜日10～14時活動中です！（出入り自由）

2/10(月)・14(金)牛久幼稚園みそ開き	2/22(土)常総生協理事会(13時)
2/14(金)牛久ポケットファーム拡大イベント	2/27(木)モンテッソーリつくば味噌作り
2/22(土)みそ作りワークショップ@守谷(10時)	2/28(金)脱原発と暮らし見直し委員会@生協&zoom

○提携・協同・連帯企画●

3/8(土)さようなら原発@代々木公園集会
3/8(土)「3・11甲状腺がん子ども基金」シンポジウム@いわき市&zoom

～各種募金は、下記【注文番号】で、毎週受付しております。ご協力をお願い致します～

- ★【注文番号：500251】東海第二原発差止訴訟基金 1口500円
- ★【注文番号：500252】関東子ども健康調査支援基金 1口1000円
- ★【注文番号：500253】被災地等を支援する【JOSOたすけあい基金】 1口500円
- ★【注文番号：500254】JOSO脱プラ基金 1口500円
- ★【注文番号：500255】鈴木牧場・新牛舎応援基金 1口500円（期間：～2025年3月4回まで）
- ★【注文番号：500256】脱原発と暮らし見直し委員会「12年のまとめ」の印刷カンパ 1口200円
- ★【注文番号：500257】岩瀬牧場・養豚基金 1口500円（一次締切：～2025年4月5回まで）

関東子ども健康調査支援基金 報告 (つづき)

〇どうして甲状腺を調べるの？



「甲状腺」は首にある、チョウチョ🦋のような形をした臓器です。ホルモンを分泌する大事な役割を持っています。甲状腺は自然界にある「ヨウ素（昆布やのりなど海藻に多く含まれる成分）」を栄養源としているため、原発事故時に放出される「放射性ヨウ素131」を「ヨウ素」と間違えて甲状腺内に取り込んでしまいます（構造がよく似ているため）。取り込まれた放射性ヨウ素による内部被曝から、甲状腺がんを引き起こすとされています。しかし、甲状腺がんは自覚症状が無い場合、エコー（超音波）検査でがんの元となる「結節（しこり）」をみつけようというのがこの検診の目的です。もし異常が見つかって、協力医が精密検査をした方がいいと判断した場合は連携病院を紹介しています。異常が無ければそれが一番で、それを確かめることにも検診の意義があります。



※基金のエコー機（日立 ノブルス）は皆さんからのご寄付で購入したものです（300万円）。

↑※エコー機

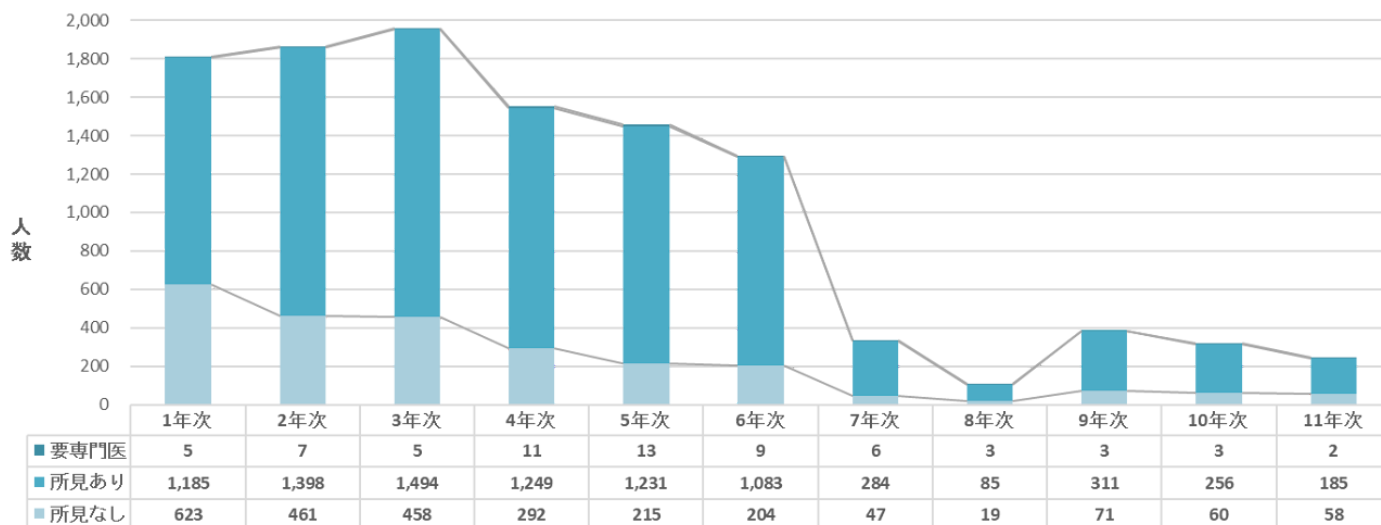
この1台のエコー機と機材を車に積んで、各地を回っています。



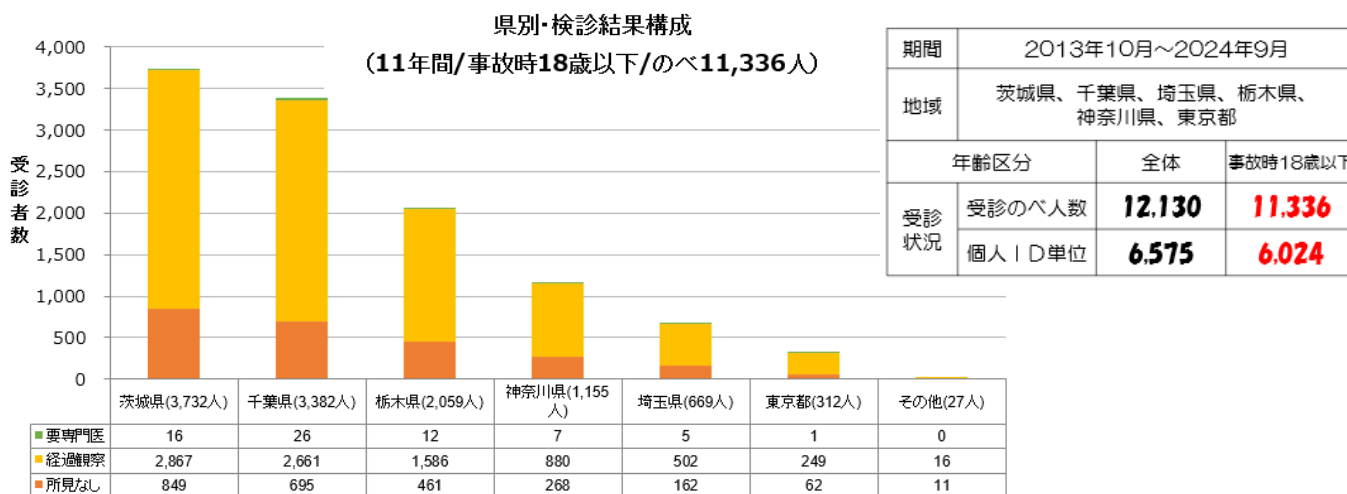
〇11年間の検診結果一覧

年次	期 間	会 場	検診数	基 金 判 定			福 島 判 定			
				所見なし	所見あり	要専門医	(A1)	(A2)	(B)	(C)
11年次	2023年10月～2024年9月	14会場	245	58 (23.7%)	185 (75.5%)	2 (0.8%)	56 (22.9%)	188 (76.7%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
10年次	2022年10月～2023年9月	16会場	319	71 (18.4%)	311 (80.8%)	3 (0.8%)	70 (18.2%)	311 (80.8%)	4 (1.0%)	0 (0.0%)
9年次	2021年10月～2022年9月	16会場	385	60 (18.8%)	256 (80.3%)	3 (0.9%)	60 (18.8%)	254 (79.6%)	5 (1.6%)	0 (0.0%)
8年次	2020年10月～2021年9月	3会場	107	19 (17.8%)	85 (79.4%)	3 (2.8%)	18 (16.8%)	89 (83.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
7年次	2019年10月～2020年9月	6会場	337	47 (13.9%)	284 (84.3%)	6 (1.8%)	47 (13.9%)	285 (84.6%)	5 (1.5%)	0 (0.0%)
6年次	2018年10月～2019年9月	23会場	1,296	204 (15.7%)	1,083 (83.6%)	9 (0.7%)	203 (15.7%)	1,085 (83.7%)	8 (0.6%)	0 (0.0%)
5年次	2017年10月～2018年9月	26会場	1,459	215 (14.7%)	1,231 (84.4%)	13 (0.9%)	210 (14.4%)	1,237 (84.8%)	12 (0.8%)	0 (0.0%)
4年次	2016年10月～2017年9月	26会場	1,552	292 (18.8%)	1,249 (80.5%)	11 (0.7%)	289 (18.6%)	1,251 (80.6%)	11 (0.7%)	1 (0.1%)
3年次	2015年10月～2016年9月	29会場	1,957	458 (23.4%)	1,494 (76.3%)	5 (0.3%)	471 (24.1%)	1,477 (75.5%)	9 (0.5%)	0 (0.0%)
2年次	2014年10月～2015年9月	27会場	1,866	461 (24.7%)	1,398 (74.9%)	7 (0.4%)	464 (24.9%)	1,399 (75.0%)	3 (0.2%)	0 (0.0%)
1年次	2013年10月～2014年9月	22会場	1,813	623 (34.4%)	1,185 (65.4%)	5 (0.3%)	623 (34.4%)	1,184 (65.3%)	6 (0.3%)	0 (0.0%)
【累計】	2013年10月～2023年9月	208会場	11,336	2,508 (22.1%)	8,761 (77.3%)	67 (0.6%)	2,511 (22.2%)	8,760 (77.3%)	64 (0.6%)	1 (0.0%)

受診結果年次推移（基金判定・事故時18歳以下）



関東子ども健康調査支援基金 報告 (つづき)



【基金判定】			参考(福島判定)	
判 定	所 見	案 内	判定	内容
所見なし	現時点では特に何も見あたりません	定期検診(2年後程度)をおすすめします	A1判定	のう胞・結節をみとめないもの
所見あり	「のう胞」が見られました	定期検診(毎年)をおすすめします	A2判定	5.0mm以下の結節、20.0mm以下ののう胞を認めたもの
	「結節」が見られました	定期検診(毎年)で経過観察が必要です	B判定	5.1mm以上の結節、20.1mm以上ののう胞を認めたもの
	「結節・のう胞」が見られました		C判定	直ちに二次検査(穿刺細胞診)を要する
要専門医	専門医・専門機関での精密検査が必要です			

福島県が行っている甲状腺検査の判定基準(福島判定)と基金の基準(基金判定)は少し異なるため、P2の表は同じ検診の結果を2つの基準で併記しています。左は基準の比較表です。

「のう胞」は液体成分でできていて、これ自体は心配のないものです。健康な人にも見つかることが多いです(受診者の約8割の方にのう胞がありました)。「のう胞」の中に「結節」(のう胞内結節)ができることもあるため「のう胞」も記録します。

○「10万人に2～3人」とされた小児甲状腺がん罹患率に対して、福島原発事故後の甲状腺検診による小児甲状腺がんの結果は

(福島県県民健康調査) 38万人中 331人※1

(関東子ども健康調査支援基金) 6千人中 3人※2

※1 福島県の検査は「事故時18歳以下」の38万人が対象で、検査後の手術で「甲状腺がん」と診断された人は284人。「がん登録」によって分かった47人を合わせると331人に上ります(2024年11月15日福島県発表)。「福島県県民健康調査 検討委員会」は甲状腺がんの「多発」を認めているものの、「放射線被ばくとの関連は認められない」としています。

※2 基金の「事故時18歳以下」の受診者は、個人単位で6,024人です。11年間の基金検診で「要専門医」とされ、「甲状腺がん」と分かった方は3人です。今期に新たに甲状腺がんとわかった人はいません。母数がかなり違うため、福島県の結果と単純比較することはできません。

○2026年秋以降の検診はスローペースに

受診者数の減少と、運営団体の活動終了、基金体制の変化もあって2026年秋以降は検診会場数が半分にになる見込みです。検診ペースをスローダウンしながら、数年で検診終了へ向かう方針です。対象年齢の方は今年・来年の受診チャンスを逃さず、ぜひ検診に来てください。

○11年の活動を経て思うこと

国策の果てに未曾有の原発事故を起こしても、国は子どもたちを守らないことに愕然としたあの時から13年。私自身が「呼びかけ人」の一人となり、基金が発足してから11年。真剣に子どもたちを守ろうとする皆さんの出会いを得て、受診されたのべ1万2千人の気持ちに寄り添えたことは奇跡のようにうれしいことです。しかし同時に「被曝すること」は「がんのリスクを負うこと」であり、「核と命は共存できない」と確信しています。エネルギー政策は、原子力発電以外の方法を選択すべきだと思います。

「晩発性の健康影響」は放射線被ばくの特徴です。これから影響が出るかもしれないという時期に検診終了に向かうことには、公的援助のない市民検診の限界も感じますが、ここまで広いエリアでこれほどの協力者と共に市民が主体となって甲状腺検診をしているところは他にありません。常総生協が地域にあり、人と人を繋いでこの活動をバックアップしてくれたこと、組合員・生産者の理解と協力をいただいていたことに感謝申し上げます、11年次の活動の報告といたします。もうしばらく検診は継続していきますので、引き続きお力を寄せてください。

(文責 木本さゆり)



日時 1月25日(土)10時～
場所 生協本部 組合員活動室
出席 理事6名・監事3名

- 【第1号議案】2025年度 活動方針の件 →継続審議
- 【第2号議案】推薦委員募集の件 →承認
- 【第3号議案】岩瀬牧場の経営状況と生協支援の件→継続審議
- 【第4号議案】2024年度のまとめ・分担の件→承認

次回理事会の予定
2月22日(土)
13時～15時
※傍聴希望の方は
予めお知らせください

今回は、2025年度に向けて、スローガンや各プロジェクト毎の活動方針を話し合いました。岩瀬牧場の経営状況を聞き、今後について議論し、支援については継続審議となりました(2/9臨時理事会予定)。ネットワーク21経営トップ会議の報告から、4生協事業連帯との違いについて理解を深めました。理事補充のための役員推薦委員を理事から2名選出しましたが、理事以外からも3名が必要です。組合員の皆様からの自薦、他薦お待ちしております(2/15迄)

3月は原発事故関連の催しがいっぱい ぜひご参加ください!

311子ども 甲状腺がん裁判

東京電力福島第一原発事故によって放出された放射性物質によって被ばくし、甲状腺がんになった若者たちが立ち上がった裁判も大詰めです。
引き続き応援してください!

第13回
3月5日
午後2時30分

第13回口頭弁論期日のお知らせ 3月5日(水)

口頭弁論: 東京地方裁判所

13時00分 入廷行進
13時05分 地裁前アピール
13時40分 傍聴整理券配布予定
14時00分 整理券配布締切
14時30分 開廷(103号法廷)

支援者集会: 日比谷コンベンションホール

14時00分 開場
14時30分 支援者集会開始
16時30分 終了予定

※傍聴整理券配布前に、裁判所内で並ばないようお願いいたします。
※傍聴は抽選です。外れた方は、支援者集会にお越しください。

本裁判のテーマカラー緑色を身につけてご参加ください。

311甲状腺がん子ども支援ネットワーク

1107-0052
東京電力福島第一原発事故17周年記念イベント2024 311甲状腺がん子ども支援ネットワーク
TEL:03-5262-2722(受付時間:午前9時～午後5時) E-MAIL:311support@npo.org
[E-MAIL:311support@npo.org] [HP:https://www.311support.net/]

最新情報はホームページをご覧ください。
311甲状腺がん子ども支援ネットワーク

子どもの甲状腺検査 何のため? だれのため?

3・11甲状腺がん子ども基金 シンポジウム
原発事故と甲状腺がん
当事者の声をきく vol.5

原発事故から14年、福島県は事故当時18歳以下の子どもを対象に、2年毎に甲状腺検査を実施しています。検査6回目の現在、約400人が甲状腺がん>と診断され再発や転移の報告もあるなか、県の検討委員会では、「診断診断であり、検査をやめるべき」との主張が止まりません。

一方、公的検査が行われていない他県では、「子どもたちを守る」と、市民団体による検査が地道に続けられています。

原発事故後の甲状腺検査は、何のため、だれのためなのか。検査をめぐる問題点や、当事者の思いを共有します。

※本シンポジウムは、福島県に、原発事故や検査に関する悩みを抱える子どもや若者を支援する目的で開催されます。

【主催・協賛】
NPO法人3・11甲状腺がん子ども基金
03-5369-6630 info@311thg.org 311thg.org

3・11甲状腺がん子ども基金は、原発事故後に甲状腺がんと診断された子どもたちを支援しています。

NHK「ハートネットTV」で紹介
「福島・甲状腺がん 闘つたはじめた若者の声をきく」
(2023年8月8日放送) 当事者が出演しました。
NHK 録画サイトはこちらから▶

3/8(土)
14:00～17:00
(開場 13:30)

会場 いわき市&オンライン
参加費 無料

プログラム

- 子どもの甲状腺検査と過剰診断問題
福島出身子(福島県代表理事)
- 原発事故後、大人になったら何をやる?
水戸出身子(福島県子ども健康調査支援基金共同代表)
- 「福島県子ども健康調査」の現状と課題
福島県子ども健康調査支援基金 日本支那代表
- 当事者の声をきく(オンライン参加者専用)
- 検査をめぐる問題点や、当事者の思いを共有
福島県子ども健康調査支援基金 日本支那代表

申し込みは
こちらから▶

※会場参加(先着50名)
福島県出身子(福島県代表理事) 会場費1000円
いわき市出身子(いわき市代表理事) 会場費1000円
※オンライン参加: Zoomウェブナー

さようなら原発 3.8全国集会

2025年3月8日
代々木公園B地区(NHKホール横)

JR山手線・原宿駅・渋谷駅、東京メトロ千代田線・明治神宮前駅
千代田線・代々木公園駅、小田急線・代々木八幡駅 下車

12:00 ミニステージ
13:00 オープニングライブ
13:30 トークライブ

呼びかけ人 鎌田慧さん 落合恵子さんほか
福島から(福島県民集会主催者、福島県民訴訟団)
再稼働など原発現場から ほか

15:00 バレード(渋谷方面・原宿方面)

主催:「さようなら原発」一千万署名 福島県民
福島県民訴訟団 福島県民集会 福島県民訴訟団
さようなら原発1000万人アクション実行委員会
東京電力福島第一原発事故17周年記念イベント2024 311甲状腺がん子ども支援ネットワーク
TEL:03-5262-2722(受付時間:午前9時～午後5時) E-MAIL:311support@npo.org
[E-MAIL:311support@npo.org] [HP:https://www.311support.net/]

2025年3月8日(土)

代々木公園B地区(NHKホール横)

JR山手線・原宿駅・渋谷駅、東京メトロ千代田線・明治神宮前駅
千代田線・代々木公園駅、小田急線・代々木八幡駅 下車

12:00 ミニステージ
13:00 オープニングライブ
13:30 トークライブ

呼びかけ人 鎌田慧さん 落合恵子さんほか
福島から(福島県民集会主催者、福島県民訴訟団)
再稼働など原発現場から ほか

15:00 バレード(渋谷方面・原宿方面)

さようなら原発3.8全国集会@代々木公園

今回のスピーカーは福島県の方がメインです。ぜひ応援にお越しください。

※今回は東海第二運転差止訴訟団の登壇はありません。常総生協のテントも今回はお休みです。